

■災害時協定を締結

災害時における迅速な対応と復旧を目的に、市と市建設業組合（赤羽芳人組合長）は3月23日、「災害時における応急対策に関する協定」を結びました。

昨年、市建設業組合が市全域で一本化された事に伴い、新たに締結し直すため準備してきたもので、内容がより具体的に、

また明確化されました。あいさつで宮澤市長は「お互いに協力して災害対策に努め、これからも密接な連携のもと防災力の強化に努めたい」とし、赤羽組合長は「この度の震災の様子を見ると、我々に何が出来たのかと思うが、いざという時は組合の全力を挙げて市民の皆さんのため

働きたい」と決意を述べました。

内容は、平常時からの準備・連絡体制の市への提供や、市からの依頼も具体的に絞ったものとするよう定めるなどとしており、万一の際、被害の拡大防止と迅速な復旧が期待されます。



調印後握手する赤羽芳人組合長と市長

■市消防団 活動の充実を図るために

●総務省消防庁消防団協力事業所表示証の伝達式

市町村が認定する消防団協力事業所のうち、特に顕著な功績が認められる事業所を消防庁が認定する「総務省消防庁消防団協力事業所」として、安曇野市ではじめて共和アスコン株式会社が認定されました。3月24

日に宮澤市長から表示証および交付書の伝達が行われました。（関連記事23ページ）

●消防車両配置式

市は3月25日、消防車両の配置式を本庁舎前で行いました。配置したのは小型ポンプ付積載車3台で、堀金地域を所管している第13分団第1部、第3部に配

備しました。旧車両は、ポンプ車で配置から約16年が経過し老朽化が進んでいました。新車両には機動性に富む小型ポンプが積まれ、性能も高く、防災力の一層の強化が期待できます。小出博一郎団長は、「いつそう訓練に励み、予防消防に努めたい」と、活動の充実を誓いました。



地域防災の中心的な役割が期待される

■5地域の地域審議会から提言書



それぞれの地域審議会が提言書を提出

5地域の地域審議会は、それぞれの地域課題に対する提言などをまとめ、3月11日に市長へ提出しました。

この提言は、地域審議会が2年間の任期を終了するのにあたりまとめられたもので、それぞれの審議会が重要な地域課題として審議してきた項目が盛り込

まれています。

提言された主な項目は、次のとおりです。

- ◇豊科地域審議会：今後の地域づくりについて
- ◇穂高地域審議会：本庁舎建設に伴う穂高総合支所のあり方について
- ◇三郷地域審議会：畜産に伴う

- 臭気問題への取り組み強化
- ◇堀金地域審議会：堀金総合支所の有効活用について
- ◇明科地域審議会：明科南保育園の建て替えについて
- 提言書の全文については、市ホームページおよび各総合支所地域支援課でご覧いただけます。

■つながりあって、そしてひろがって つながりひろがる地域づくり事業成果発表会

平成22年度の「つながりひろがる地域づくり事業成果発表会」が3月5日、三郷公民館で開催されました。

この事業は、「支え合う地域社会を目指し、市民団体が行う自主的で主体的な地域に根ざした市民活動事業を支援し、幅広い市民活動事業の輪を広げるこ

と」を目的とした地域活動に対し、2分の1以内、10万円を限度に補助金を交付するもので、平成19年度から取り組んでいます。

平成22年度は、28団体がこの事業に取り組みました。

今回は、市民をはじめ大勢の参加者を前に、穂高駅周辺のマ

ップを作成した活動や、消費者と生産者を結ぶ取組み、地元の堰の歴史を学び大切な水を次代へ引き継ぐ取組みなど、9団体が1年間の様々な活動を報告するとともに、4団体が展示発表を行いました。



オープニングを含め9団体が発表